第4期中期経営計画　平成29～31年度　～港力（ミナトヂカラ）の更なる強化～【概要版】

平成29年3月
東京港埠頭株式会社

港力（ミナトヂカラ）

- ○ お客様に信頼される質の高い「**サービス**」
- ○ 安全かつ効率的な物流や環境負荷の低減を可能とする優れた「**技術力**」
- ○ 事業を支える港の機能を知り尽くした現場の「**人財**」

経営理念

**東京港埠頭株式会社は、
東京港が、首都圏の物流基地としてだけでなく、
世界のリーディングポートとして重要な役割を担うとともに、
多くの人々に親しまれ憩いのある水辺の都市空間として発展するよう全力を尽くします。**

私たちは、首都圏4千万人の生活を支える物流基地として発展させるだけでなく、日本国内・世界の港湾運営をリードする「東京港」として飛躍させるため、港湾管理者等と協力して、物流の技術革新や取扱貨物の増大などへの的確な対応と、より質の高いサービスの実現に向け、たゆまぬ努力をし、大都市東京の発展に寄与してまいります。

また、日本国内だけでなく世界各国から来訪するお客様が港の景観や水・緑に親しみながら快適に憩うことのできる都市空間として東京港が更に発展・成熟するよう、利用者サービスの向上に努めてまいります。

経営ビジョン

私たちは、次のビジョンを実現させ、東京港のポテンシャルを活かし、港湾エリアにおける多角的・先進的な事業を展開する港湾運営～東京港モデル～を、世界に発信します。

- **①お客様の信頼を向上させ、質の高いサービス提供を目指します。**
- **②グローバル化に伴う物流・経済・人の動向に機敏に対応し、東京港の発展に寄与します。**
- **③防災・環境への取組を推進し、安全安心な東京港の実現に貢献します。**
- **④関係法令及びその精神を遵守し、公正・透明な事業活動を推進します。**
- **⑤コストパフォーマンスの向上を徹底し、新規事業にも積極的に取組み、成長を目指します。**
- **⑥世界の港湾運営をリードする高い専門性を持ち、活力ある組織運営を目指します。**

現状・課題

物流機能を向上させる取組

（1）東京港の特性と事業環境の変化

現状
- ◆ 市街地に隣接しているため、港湾施設として利用可能なスペースが狭隘
- ◆ 船会社のアライアンス再編やコンテナ船の大型化が進行
- ◆ 経済連携協定等の貿易構造の変化により、取扱貨物量の増大が予測
- ◆ 慢性的な交通混雑が発生し、物流の効率性が低下

課題
- ➢ 限られた土地の有効活用
- ➢ 適切な設備投資による船舶大型化への対応
- ➢ 創意工夫を凝らした交通混雑の緩和

（2）お客様のニーズ等を踏まえたサービスの提供

現状
- ◆ お客様ニーズや使用状況を踏まえたガントリークレーン等の計画的な更新が必要
- ◆ 埠頭機能の健全性を保つため、予防保全型維持管理の継続的な実施が必要
- ◆ お客様ニーズやマーケティングの結果に基づいたサービスを提供
- ◆ ホームページやパンフレット、営業活動等を通じて東京港の情報を発信

課題
- ➢ 安全・安心な施設の計画的・継続的な提供
- ➢ よりきめ細やかな営業活動・サービスの充実
- ➢ 情報発信の充実・強化

（3）環境への配慮

現状
- ◆ 省エネ設備への転換により、環境負荷を軽減
- ◆ 環境インセンティブ制度を導入する等、CO2排出量の削減を実施

課題
- ➢ 環境配慮への継続的・積極的な取組

臨海エリアを発展させる取組

（1）臨海エリアを取り巻く環境の変化

現状
- ◆「2020年東京大会」の開催が決定し、臨海エリアの注目度が向上
- ◆ 当社の管理施設の一部は「2020年東京大会」の会場に決定
- ◆ 訪日外国人観光客の増加に伴い、臨海エリアへの来訪者数も増加
- ◆ 当社にて維持管理ガイドラインに基づく施設点検や修繕を実施
- ◆ 関係機関等と連携しながら、東京港の港湾振興の取組に貢献

課題
- ➢ 臨海エリアの更なる魅力の向上、賑わいの創出
- ➢「2020年東京大会」関連工事等への柔軟な対応
- ➢ 施設の安全性維持・確保に向けた取組の徹底と、より快適な空間の提供
- ➢ 関係機関等の取組へのきめ細やかな対応

（2）指定管理者事業の着実な実施

現状
- ◆ 当社の管理施設等に対するお客様ニーズが多様化
- ◆ 指定管理者として果たすべき計画を東京都に提出
- ◆ ホームページやツイッター等により臨海エリアの情報を発信

課題
- ➢ お客様ニーズの継続的な把握ときめ細やかな対応
- ➢ 指定管理者として提出した計画の遵守
- ➢ 情報発信の充実・強化
- ➢ 指定管理者としてのノウハウや実績を活かした事業の拡大

（3）港湾機能を支える公共性の高い事業への貢献

現状
- ◆ 建設発生土の有効利用や港内清掃等、公共性の高い事業へのニーズが継続
- ◆ フェリーターミナルビル等、当社所有施設を管理運営

課題
- ➢ 当社の重要な役割として公共性の高い事業を引き続き着実に実施
- ➢ より快適な施設をお客様に提供するためのサービスの充実

取組内容（赤字は重点取組）

物流機能を向上させる取組

(1)需要動向や状況変化を適切に踏まえた施策の展開
- 新規コンテナ埠頭（Y1・2）の整備完了、運営開始
- 新規コンテナ埠頭（Y3）の整備計画の策定
- 既存コンテナ埠頭（大井・青海）再編計画の検討・策定
- 既存コンテナ埠頭（大井・青海）における大型船対応
- ITを活用した効率的で利便性の高い車両待機場の運営
- 「2020年東京大会」と物流の調和を実現するストックヤードの運営

(2)持続可能で安定的なサービスの提供
- ガントリークレーンの計画的な更新・延命化
- 予防保全型維持管理による施設の健全性の確保
- 既存ｺﾝﾃﾅ埠頭（品川・青海）等における岸壁の適正な管理運営体制の構築
- お客様ごとに異なるﾆｰｽﾞの的確な把握、ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞに基づくｻｰﾋﾞｽの充実
- 東京港の機能や魅力を広める取組の展開

(3)技術力を活かした環境への取組の推進
- 環境にやさしい省エネ設備の積極的な導入
- CO2排出量削減に向けた取組の推進

臨海エリアを発展させる取組

(1)大都市東京の「顔」にふさわしい水辺空間の提供と賑わいの創出
- 「おもてなしプロジェクト」等、臨海エリアの更なる賑わい・魅力を創出
- 「2020年東京大会」開催に伴う一部施設の関係工事等への柔軟な対応
- ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づいた、施設の安全性への取組の徹底、より快適な空間の提供
- 関係機関等との連携を強化し、東京港の港湾振興の取組に一層貢献

(2)指定管理者としてのレベル向上と積極的な事業展開
- お客様の声を的確に反映させる取組の推進
- 指定管理者提案事項の着実な実施
- ホームページやツイッター等による情報発信の充実、強化
- ノウハウや実績を活かした事業の継続・新規獲得

(3)港湾機能を支える公共性の高い事業の実施
- 建設発生土事業・港内清掃事業・浅場維持管理事業等の着実な実施
- フェリーターミナルビル等の適切な管理運営

取組を支える組織づくり

(1)「東京港モデル」を実現する「人財」育成
- ﾌﾟﾛ人財の育成・強化を目的とした、社外ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙへの派遣研修等の実施
- グローバル人財育成に向けた、語学研修等の実施

(2)東京港の災害対応力の強化
- 当社BCPやｱｸｼｮﾝﾏﾆｭｱﾙ等に基づく訓練実施等による対応策の確立
- 全社員のAED講習受講等、災害発生時の体制の強化

(3)コンプライアンスの強化・徹底
- 社会情勢に則したｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ研修や内部監査の実施